

教科	英語	科目名	英語コミュニケーション I	単位数	3	開講対象 年次コース	1年次
使用教科書	MY WAY English Communication I New Edition(三省堂)						
副教材等	MY WAY English Communication I New Edition Workbook STANDARD(三省堂)、 コーパス3000 4th Edition(東京書籍)Active Listening 1 THIRD EDITION(第一学習社)						
備考(履修条件等)							

### 1 科目の学習到達目標

科目の学習到達目標として、1.日常的なトピックに関する簡単な会話を聞き取り、適切に応答できる。自分の経験や考えを、基本的な表現を用いて相手に伝えることができる。2.場面に応じた適切な表現を用いる。また、相手の発言を理解し、それに応じた返答をすることができる。3.基本的なリスニング力を向上させ、英語特有のリズムやイントネーションを意識しながら、簡単な英語の音声を理解することができる。短い会話やアナウンスを聞いて、要点を正しく把握することができる。4.英語で質問をしたり意見を述べたりすることで、論理的に考えを組み立てる力を伸ばす。5.ペアワークやグループワークを通じて、自ら積極的に英語を使用しようとする姿勢を養う。間違いを恐れず、実践的に学習を進める態度を身につける。

### 2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

#### (1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を習得できたか。英語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場で運用できる技能を身に付けることができる。
②思考・判断・表現	外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合うことができる。
③主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしていたか。外国語学習に主体的に取り組んでいる。

#### (2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		定期考査	単元テスト 小テスト	パフォーマンス テスト	英チェック	課題・ 成果物
①知識・技能	右表参照	○	○	○		○
②思考・判断・表現	右表参照	○	○	○		○
③主体的に学習に取り組む態度	右表参照			○	○	○

以上を総合的に判断して決定します。

### 3 担当者から

英チェック・単語テストも評価対象のため、語彙力が成績に大きく反映されます。コミュニケーションを取るためにも、まずは基礎力です。徹底して学習しましょう。日頃の積み重ねが重要になりますので、継続的な学習が必須です。

#### 4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	Lesson 0	8	ガイダンス・復習
5	Lesson 1	8	さまざまなフォント 時制・SV0(0=that節)
6	Lesson 2	11	環境にやさしいビーバー 受け身・助動詞・比較
7	Lesson 3	6	「代替食品」の現状とは 動名詞・to不定詞
8	Lesson 4	6	『クマのプーさん』に込められたメッセージ 現在完了・過去完了
9	Lesson 4	8	『クマのプーさん』に込められたメッセージ 現在完了・過去完了
10	Lesson 5	12	消滅の危機にある世界の言語 関係代名詞
11	Lesson 6	8	パリの地下鉄ミュージシャン 関係副詞
12	Lesson 7	10	車いすで世界一周した三代達也さんのブログ 分詞・分詞構文
1	Lesson 8	6	古代から現代までの「鍵」の進化 直説法・仮定法
2	Lesson 9	8	角野栄子さんとその想像力 文型
3	Lesson 10	14	SDGsに関するプレゼンテーション
備考	<p style="text-align: right;">105</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業数は予定です</li> <li>・ 変更がある場合は授業内で周知します</li> </ul>		

教科	英語	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4	開講対象 年次コース	2年次
使用教科書	MY WAY English Communication II (三省堂)						
副教材等	MY WAY English Communication II Workbook STANDARD (三省堂)、コーパス3000 4th Edition (東京書籍) Active Listening 2 (第一学習社)						
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

科目の学習到達目標として、1.日常的なトピックに関する簡単な会話を聞き取り、適切に応答できる。自分の経験や考えを、基本的な表現を用いて相手に伝えることができる。2.場面に応じた適切な表現を用いる。また、相手の発言を理解し、それに応じた返答をすることができる。3.基本的なリスニング力を向上させ、英語特有のリズムやイントネーションを意識しながら、簡単な英語の音声を理解することができる。短い会話やアナウンスを聞いて、要点を正しく把握することができる。4.英語で質問をしたり意見を述べたりすることで、論理的に考えを組み立てる力を伸ばす。5.ペアワークやグループワークを通じて、自ら積極的に英語を使用しようとする姿勢を養う。間違いを恐れず、実践的に学習を進める態度を身につける。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を習得できたか。英語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場で運用できる技能を身に付けることができる。
②思考・判断・表現	外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合うことができる。
③主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしていたか。外国語学習に主体的に取り組んでいる。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		定期考査	単元テスト 小テスト	パフォーマンス テスト	英チェック	課題・ 成果物
①知識・技能	右表参照	○	○	○		○
②思考・判断・表現	右表参照	○	○	○		○
③主体的に学習に取り組む態度	右表参照			○	○	○

以上を総合的に判断して決定します。

3 担当者から

英チェック、単語テストも評価対象のため、語彙力が成績に大きく反映されます。コミュニケーションを取るためにも、まずは基礎力です。徹底して学習しましょう。日頃の積み重ねが重要になりますので、継続的な学習が必須です。

#### 4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	Lesson 1	14	ガイダンス・復習
5	Lesson 2	14	世界のことわざ 時制
6	Lesson 3	14	岩合光昭さんへのインタビュー 助動詞・受け身
7	Lesson 3	7	高校生が作ったサバ缶が宇宙食に 動名詞・to不定詞
8	Lesson 4	7	『クマのプーさん』に込められたメッセージ 現在完了・過去完了
9	Lesson 5	14	『クマのプーさん』に込められたメッセージ 現在完了・過去完了
10	Lesson 6	14	消滅の危機にある世界の言語 関係詞
11	Lesson 7	14	車いすで世界一周した三代達也さんのブログ 分詞表現
12	Lesson 8	14	難民の子どもたちのためのサッカーチーム 関係詞
1	Lesson 9	7	分身ロボットで広がる世界 仮定法
2	Lesson 10	7	角野栄子さんとその想像力 文型
3	Lesson 10	14	SDGsに関するプレゼンテーション
備考	<p style="text-align: right;">140</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業数は予定です。</li> <li>・ 変更がある場合は授業内で周知します。</li> </ul>		

教科	英語	科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4	開講対象 年次コース	3年次 必修
使用教科書		MY WAY English Communication Ⅲ					
副教材等		MY WAY English CommunicationⅢ Workbook STANDARD (三省堂)、 コーパス3000 4th Edition(東京書籍)、 Active Listening 4 THIRD EDITION(第一学習社)					
備考(履修条件等)							

### 1 科目の学習到達目標

日常的・社会的な話題について、

- 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
- 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
- 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

### 2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

#### (1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	4技能において、実際のコミュニケーションで活用できる知識・技能が身に付いているか。学習を通して、言語の働きや役割などを理解できているか。
②思考・判断・表現	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを的確に理解し、適切に伝え合うことができたか。
③主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしていたか。

#### (2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	考査	各種テスト	英チェック
①知識・技能	右表参照			◎	○	
②思考・判断・表現	右表参照			◎	○	
③主体的に学習に取り組む態度	右表参照	○	◎			◎

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

### 3 担当者から

2年次で使用していた教科書とワークブックおよび副教材の『Active Listening 2』も引き続き使用しますので、持ってきてください。  
授業で行う小テストやコーパステストも評価に反映されますので、毎回の取り組みを大切にしましょう。

#### 4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	ガイダンス Lesson8 Lesson9 Lesson10	9	・春休み明けコーパステスト 仮定法 同格を表すthat節／強調構文／倒置／省略 デジタル社会／討論／日常生活
5	UNIT 1 ・Strategy1 ・Strategy2 ・Strategy3 ・Strategy4	11	・英チェック① 必要な情報を聞き取る／読み取る 意味のまとまりごとに理解する キーワードや内容語から概要を把握する 視覚情報を利用して聞き取る／読み取る
6	・Strategy5 ・Strategy6 ・Strategy7 ・Strategy8	16	論理の展開を把握する（列挙・例示） 論理の展開を把握する（原因・結果） 話の要点を理解する 話者や筆者の意図を推測する
7, 8	UNIT2 Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4	16	・英チェック② 異文化・食・SDGs／新聞記事 科学／雑誌記事 比較文化・食物／講義 伝統文化／プレゼンテーション
9	Lesson5 Lesson6 Lesson7	16	言語・歴史／ブログ 異文化・歴史／雑誌記事 環境・SDGs／インターネット記事 ・英チェック③
10	Lesson8 (UNIT3) Lesson9 Lesson10	16	日常生活／討論 社会生活・動物／討論 現代社会・科学／事実と意見
11	・復習	16	・英チェック④
12	・復習	12	
1	・復習	8	
	120		
備考	考査に関する連絡などは授業およびクラスルームで共有します。		

教科	英語	科目名	論理表現 I	単位数	2	開講対象 年次コース	1年次
使用教科書	EARTHRISE English Logic and Expression I Standard						
副教材等	EARTHRISE English Grammar in 22 Stages						
備考(履修条件等)	なし						

1 科目の学習到達目標

「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を習得できたか。外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身につけることができる。
②思考・判断・表現	外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合うことができる。
③主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度					
		定期考査	単元テスト 小テスト	パフォーマンス テスト	英チェック	Brains	課題・成果物
①知識・技能	右表参照	○	○	○			○
②思考・判断・表現	右表参照	○	○	○		○	○
③主体的に学習に取り組む態度	右表参照			○	○	○	○

以上を総合的に判断して決定します。

3 担当者から

正確に英語を使用し、コミュニケーションを取るためには英語のルール、文法を理解する必要があります。単語学習の次に文法を理解し、考えていること・思ったことを伝えることができます。他者の話すことを理解するためにも文法・語順などのルールを知っておく必要があります。英チェック・単語テストも評価対象のため、語彙力が成績に大きく反映されます。日頃の積み重ねが重要になりますので、継続的な学習が必須です。

#### 4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	Lesson 0	5	文法事項の復習
5	Lesson 1	6	【文型】説明・紹介する
6	Lesson 2, 3	8	【時制】時を表す
7	Lesson 4, 5	6	【助動詞】能力・許可・義務・依頼・勧誘や推量などを表す
8	Lesson 5	2	【助動詞】能力・許可・義務・依頼・勧誘や推量などを表す
9	Lesson 6, 7	6	【受け身】「～される」を表す 【不定詞】「～すること」などを表す
10	Lesson 8, 9	9	【不定詞】to do / doを使って表す 【動名詞】「～すること」を表す
11	Lesson 10, 11	11	【分詞】分詞表現を使って説明する
12	Lesson 12	5	【関係代名詞】人や物について説明する
1	Lesson 13	4	【関係副詞】時や場所などについて説明する
2	Lesson 14	4	【比較】比較を表す
3	Lesson 15	4	【仮定法】仮定を表す
	70		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業数は予定です。</li> <li>・ 変更がある場合は授業内で周知します。</li> </ul>		

教科	英語	科目名	論理表現Ⅱ	単位数	2	開講対象 年次コース	2年次
使用教科書		EARTHRISE English Logic and Expression II Standard					
副教材等							
備考(履修条件等)		展開クラス					

1 科目の学習到達目標

「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を習得できたか。外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けることができたか。
②思考・判断・表現	外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合うことができたか。
③主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしていたか。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点および評価の割合	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度					
		定期考査	単元テスト 小テスト	パフォーマンス テスト	英チェック	Brains	課題・成果物
①知識・技能	右表参照	○	○	○			○
②思考・判断・表現	右表参照	○	○	○		○	○
③主体的に学習に取り組む態度	右表参照			○	○	○	○

以上を総合的に判断して決定します。

3 担当者から

正確に英語を使用し、コミュニケーションを取るためには英語のルール、文法を理解する必要があります。単語学習の次に文法を理解し、考えていること・思ったことを伝えることができます。他者の話すことを理解するためにも文法・語順などのルールを知っておく必要があります。英チェック・単語テストも評価対象のため、語彙力が成績に大きく反映されます。日頃の積み重ねが重要になりますので、継続的な学習が必須です。

#### 4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	L1.How interesting Japanese culture is!	5	【時制】 さまざまな時を表す
5	L2.Wonderful places to visit in Japan	6	【助動詞】 可能・義務・必要などを表す
6	L3.Precious water for all	8	【受動態】 「～される」を表す
7	L4. What has happened recently?	8	【不定詞・動名詞】 「～すること」などを表す (to do / doing)
8	L5. I'm into music and movies!		【分詞】 doing / done を使って説明する
9	L6.Where do you usually buy clothes?	6	【関係詞】 人・物・時や場所などについて説明する
10	L7. What kind of books do you like best?	9	【比較】 比較を表す
11	L6.inventions that changed the way we live Part 2 L1. Can you come to our party?	11	【仮定法】 仮定を表す
12	L2. I'm sure you can make it!	9	心配を述べる／励ます／感想を述べる
1	L3. How about trying this food?		提案する／勧誘する／好みを述べる
1	L4. Tips for staying healthy		助言する／忠告する
2	L5. I'm taking part in some volunteer activities tomorrow. L6. Where would you like to live in the future?	8	依頼する
2	L7.Which candidate is the right person?		賛成する／反対する
3	Further Activity 1・2・3・4	70	例示・列挙, 比較・対照 原因・結果, 時間的順序・手順
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業数は予定です。</li> <li>・ 変更がある場合は授業内で周知します。</li> <li>・ 1年次に論理表現 I で使用した教科書も引き続き使用します。</li> <li>・ テストの実施に関する事など詳細は授業の中で連絡します。</li> </ul>		

教科	英語	科目名	論理表現Ⅲ	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次 必履修
使用教科書		EARTHRISE English Logic and ExpressionⅢ Standard					
副教材等							
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

多様な語句や文を用いて  
 1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。  
 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく話して伝えることができる。  
 3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を習得できたか。4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けることができたか。
②思考・判断・表現	外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合うことができたか。
③主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしていたか。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	考査	各種テスト	英チェック
①知識・技能	右表参照			◎	◎	
②思考・判断・表現	右表参照		○	◎	◎	
③主体的に学習に取り組む態度	右表参照	○	○			◎

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

2年次の教科書『HOPE VISION QUEST English Logic and ExpressionⅡ』も引き続き使用しますので、持ってきてください。  
 瞬間英作文の小テストに加えて、文法のテストも実施予定です。また、Brainsでのライティング・スピーキング活動については2つの観点の評価に反映予定です。授業で行う各種テストや活動は、毎回の取り組みを大切にしましょう。

#### 4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	ガイダンス Part2 Lesson1 Lesson2	1 4	感謝する／謝罪する 心配を述べる／励ます／感想を述べる
5	Lesson3 Lesson4 Lesson5	8	提案する／勧誘する／好みを述べる 助言する／忠告する 依頼する
6	Lesson6 Lesson7 Part1 Lesson1	9	賛成する／反対する 意見を求める／意見を述べる 意見・希望・欲求を述べる
7, 8	Lesson2 Lesson3 Lesson4	8	賛成・反対を述べる 勧誘する・招待する, 期待する 計画・意図を述べる
9	Lesson5 Lesson6 Lesson7	8	提案・助言を行う 程度・譲歩を述べる 依頼・要請を行う
10	Lesson8 Lesson9 Lesson10	8	許可を求める 謝罪する・謝罪に応じる 感謝・喜びを述べる
11	Part2 Lesson1 Lesson2 Lesson3	8	パラグラフの基礎 例示・列挙 比較・対照
12	Lesson4 Lesson5	4	原因・結果 時間的順序
1	総復習	2	
	60		
備考	考査に関する連絡などは授業およびクラスルームで共有します。		

教科	英語	科目名	私大英語演習 (応用英語)	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次 選択
使用教科書		Loop 1 最新の入試傾向に基づく英語長文問題集(啓隆社)					
副教材等							
備考(履修条件等)							

**1 科目の学習到達目標**

様々な内容の英文や、多種多様な表現の英文を理解することができる。  
 日常的な内容の英文や、アナウンスを聞き取り、理解することができる。

**2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)**

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	文法的に気を付けつつ、多種多様な表現方法を用いて、伝えたいことを伝えることができる。
②思考・判断・表現	様々な内容の英文や、多種多様な表現の英文を理解することができる。 様々な種類の英文を聞いて、相手が伝えたいことを聞き取ることができる。
③主体的に学習に取り組む態度	英語の理解力向上のために日々、英語を意欲的に学習している。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点および評価の割合	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		英単語テスト	課題提出	パフォーマンステスト	定期考査	英チェック
①知識・技能	右表参照	○	○	○	○	
②思考・判断・表現	右表参照		○	○	○	
③主体的に学習に取り組む態度	右表参照		○	○		○

以上を総合的に判断して決定します。

**3 担当者から**

講座の内容としては、私立大学入試に向けた問題演習がメインになります。リスニングとリーディングと並行して勉強していくことにより、より高いリーディング力を身に付けることを目標とします。

#### 4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	イントロダクション Lesson 1 Lesson 2	5	テーマ：化学 テーマ：社会
5	Lesson 3 Lesson 4	8	テーマ：心理 テーマ：社会
6	Lesson 5 Lesson 6	9	テーマ：化学 テーマ：伝記
7	Lesson 7	4	テーマ：生活
8	Lesson 8	5	テーマ：生物
9	Lesson 9 Lesson 10	8	テーマ：社会 テーマ：技術
10	Lesson 11 Lesson 12	8	テーマ：技術 テーマ：心理
11	Lesson 13 Lesson 14	9	テーマ：化学 テーマ：考古学
12	Lesson 15 Lesson 16	4	テーマ：エッセイ テーマ：言語
1	総復習	60	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業数は予定です。</li> <li>・変更がある場合は授業内で周知します。</li> </ul>		

教科	英語	科目名	総合英語講読 (探究英語)	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次 選択
使用教科書		共通テストドリル 英語リスニング 10 minutes 改訂第5版共通テストドリル 英語リーディング 10 minutes 改訂第5版					
副教材等							
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

様々な内容の英文や、多種多様な表現の英文を理解することができる。  
 日常的な内容の英文や、アナウンスを聞き取り、理解することができる。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けることができたか。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できたか。
②思考・判断・表現	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合えることができたか。
③主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしていたか。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点および評価の割合	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度					
		授業	課題提出	定期考査	パフォーマンステスト	休業明けテスト	英子エック
①知識・技能	右表参照	○		◎		○	○
②思考・判断・表現	右表参照	○	○	◎	○		
③主体的に学習に取り組む態度	右表参照	◎	◎				○

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

講座の内容としては、共通テストに向けた問題演習がメインになります。リスニングとリーディングを並行して勉強していくことにより、共通テストに向け、より高いリーディング力やリスニング力を身に付けることを目標とします。英語が苦手な生徒にとっては厳しい戦いになりますが、地道な努力を継続し、力をつけましょう。

#### 4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	Lesson1～Lesson4	8	メモや告知の読み取り 短い発話の聞き取り
5	Lesson5～Lesson8	8	身近な資料の読み取り 指示・説明文の聞き取り
6	Lesson9～Lesson12	8	意見文の読み取り 短い発話の聞き取り（イラスト）
7	Lesson13～Lesson16	6	日常の出来事の読み取り 議論の聞き取り
8	Lesson17～Lesson20	4	レポートや資料の読み取り 短い対話の聞き取り（イラスト）
9	Lesson21～Lesson24	6	伝記や物語文の読み取り 対話の聞き取り
10	Lesson25～Lesson28	6	説明文の読み取りA 短い対話の聞き取り
11	Lesson29～Lesson32	6	説明文の読み取りB 複数の説明の聞き取り
12	Lesson33	6	情報の読み取りと整理 講義の聞き取り
1	Lesson34	2	エッセイの原稿の推敲 共通テスト対策
2			
3		60	
備考			

教科	英語	科目名	カレントイングリッシュ	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次 選択
使用教科書		Watching NEWS					
副教材等							
備考(履修条件等)							

### 1 科目の学習到達目標

2年間を通じて学習してきた英文法を用いて、自分の表現したいことを表現できる。  
英語の対話や説明を聞いて、理解できる。  
外国語での対話を通じて、異文化交流を楽しむことができる。

### 2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

#### (1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	学んだ知識を用いて、主張、説得するときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけていたか。
②思考・判断・表現	相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、論理的に主張したり、相手を説得したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現していたか。
③主体的に学習に取り組む態度	自分の考えや気持ちなどを自分の言葉で詳しく表現しようとしていたか。英語を自己表現のツールにするために、課題等に意欲的に取り組もうとしていたか。

#### (2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点および評価の割合	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	パフォーマンステスト	活動	英チェック
①知識・技能	右表参照	○	○	○	○	
②思考・判断・表現	右表参照	○	○	○	○	
③主体的に学習に取り組む態度	右表参照	○	○	○	○	○

以上を総合的に判断して決定します。

### 3 担当者から

これまでインプットした知識や技能の実践的な運用を普段の授業やパフォーマンステストで測ることで、各観点の評価の柱とします。いわゆる「英会話」等にも挑戦してほしいと思っています。  
英語4技能の中でも特に「聞くこと」「話すこと」に重点を置いて外国語でコミュニケーションを取ることを楽しみ、自分の考えを相手に伝えることができるように力をつけていきましょう。パフォーマンステストには担当教員だけではなく、ALTや外部の講師との関わりも作っていきましょう。

#### 4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	ガイダンス、自己紹介プレゼンテーション	5	自己紹介、質問の仕方、自己紹介プレゼンテーション、簡単な会話練習
5	映画の字幕作成	8	リスニング強化、翻訳の工夫、映画のワンシーンを英語字幕で視聴し、自分たちで日本語字幕を作成
6	異文化理解ディスカッション	9	異文化比較、ディスカッション、さまざまな国の文化について学び、ディスカッション
7	英語でプレゼンテーション、異文化理解ディスカッション	4	異文化比較、ディスカッション、プレゼンスキル、発音、好きなテーマで英語プレゼンを作成し発表
8	英語でプレゼンテーション、夏休みの思い出の英作文	5	プレゼンスキル、発音、好きなテーマで英語プレゼンを作成し発表、英作文の構成、表現力、夏休みの出来事を英語で書き、クラス内で発表
9	AIとのロールプレイ	8	会話の即興力、発音練習、AIチャットツールを使って対話練習、発話のフィードバック
10	海外旅行シミュレーション	8	実践英会話、リスニング、空港やレストランでの英会話をロールプレイ
11	海外旅行シミュレーション	9	実践英会話、リスニング、空港やレストランでの英会話をロールプレイ
12	将来の夢を英語で語る	4	自己表現、スピーチ、自分の夢や目標について英語でスピーチ
1	将来の夢を英語で語る	60	自己表現、スピーチ、自分の夢や目標について英語でスピーチ
備考	単元に関わるパフォーマンステストを年数回実施予定（詳細は授業の中で）		